

# まちづくり懇談会特別企画 若者・子育て世代編 文教大学との懇談～梅村ゼミ生・青木ゼミ生～の概要について

## 1 懇談のテーマ

- ・さむかわの魅力をアピールしよう！  
～若者にとっての魅力あるまちとは～
- ・協働のまちづくり  
～若者が町と協力してできること～

## 2 日時・会場

平成30年10月24日（水） 午前11時～午後12時30分  
文教大学湘南キャンパス4201教室

## 3 参加人数：計23人

## 4 町出席者

木村町長、常盤副町長、中島町民部長、戸村協働文化推進課長、  
協働文化推進課協働担当職員

## 5 テーマ別の詳細について

- ①テーマ1…<P. 2 >
- ②テーマ2…<P. 6 下段 >
- ③テーマ3…<P. 10 下段 >

①さむかわの魅力をアピールしよう！～若者にとって魅力あるまちとは～

参加者	町長	懇談後の経過 結果等確認事項
<p>(司会)</p> <p>寒川在住の方はいらっしゃらないと伺っていますが、このような町だったら魅力を感じる、利便性を感じる、というご意見、コメントでも構いません。</p> <p>それでは最初の、「さむかわの魅力をアピールしよう！～若者にとって魅力あるまちとは～」につきまして、ご意見を頂きたいと思います。</p>		
<p><b>【町に定住してもらうための取り組みについて】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>「若者にとって魅力あるまち」ということですが、転出される方のタイミングは魅力的な働き口を求めて転出される方が多いと思われれますが、何か企業と町がタイアップし、生産年齢人口を町内に定住させるような取り組みはされていますか。</p>	<p>寒川町の、産業は基本的には工業が主体、特に自動車関連、輸送関係の事業所が多いため、転入者が多く人口的には増えてはいますが、やはりお勤めの関係で転出せざるを得ない方もいます。今、移住の受け皿としては、寒川町内に建物、住宅を取得した場合には助成金を出したり、そのほかについては様々な子育て環境の充実を図っております。</p> <p>そして、生産年齢の方、会社勤めの方の多くは町外から寒川にお勤めに来られています。会社側も町内に住むよう勧めており、行政側としてもどのような助成、支援が必要なのか検討していますが、具体的なものが出ておりません。また、交通の利便性上、通いやすいところに町があるにも関わらず、移り住もうというところまではつながっていない部分があります。しかしながら、転入者も確かに多いことは事実です。</p>	
<p><b>【子育て環境について】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>子育てしやすい環境がいいと思うのですが、例えば公園の数や小学校の数は寒川町にとって十分な数</p>	<p>町内に小学校は5校、中学校は3校あり、受け入れ体制は基本的には足りている状況でございます。また、保育園等の待機児童について</p>	

<p>字になっているのですか。</p>	<p>は、ゼロではございませんが、5人と いった数字であります。小規模保 育は6月に、幼稚園と保育園が合体 した認定こども園は新しく4月に 開設されました。そういう部分では 子供の保育環境、施設は整ってきて いると感じております。しかし、問 題は保育園、幼稚園の入園資格が町 内に在住に限っていないので、町外 からのこどもも多数います。寒川の 場合は、大曲地区に新しく認定こど も園ができたのですが、やはり茅ヶ 崎からの入園者がずいぶん多いと いう話も聞いています。</p>	
<p><b>【若い世代の流入促進について】</b> <b>公助</b> 高齢化に対応するために、若い世 代の流入促進をしているとありま すが、若い世代のさらに具体的な対 象者を教えていただきたいと思い ます。</p>	<p>人口減少社会を予測、想定される 中で、働き手、生産年齢人口、いわ ゆる若い方全員に来ていただきたい と思います。寒川に移り住んでも らい、そこで町の財政的な一翼を担 ってもらおうという希望もあります。 町内の企業では景気も落ちつき、新 しい社屋を建て、ほかから従業員を 寒川に集約するという動きもあり ます。 そのような部分でPRをし、会社側 や行政側からも、寒川町の企業のP Rをしてほしいというお話も聞いて います。企業さんも独自で募集は され、業種によって違いはあるもの の雇用状況として求人数は多いの ですが、公募しても人が集まりませ ん。そのような実情も訴えながら、 寒川にこれだけの優良企業がある と行政側としてもPRしていきたい と思います。</p>	
<p><b>【個人商店について】</b> <b>公助</b> 地域コミュニティの活性化には</p>	<p>商業、特に個人商店の場合跡継ぎ 問題が深刻です。町内にもスーパー</p>	

<p>やはり個人商店や町商工会の活性化が必要と思うのですが、将来的な担い手の確保の仕方、取り組みとしては何がありますか。</p>	<p>やコンビニがあり、個人商店さんとしては、非常に経営が苦しいと伺っています。その中でやはり魅力あるお店、個人商店だけに限らず、商業はお客さんが来ないと成り立ちません。個人商店だからできる地域との密接な関係、ご用聞きとは言いませんが、やはり地域に向いてお客さんの要望に応える動きを商店の側もしないと、お客さんを待つだけでは難しいと思います。</p> <p>また、商工会経由で売り出しやセールを行っています。規模が小さいので負担が大きく、経費もなかなか捻出できない。そのため、商工会の商業部門からは、町に対する公費の補助をお願いしたいと要望があります。プレミアム付きの商品券など行っておりますが、行政側としては商業だけに公費の投入というのはいけません。少子高齢の今、福祉分野や教育分野にも投資しなければなりません。その中で商業については、もう少し動きを活発に、あるいは横の連携をとり、動いてくださいというお話をしております。ただ、これは寒川だけに限らず、どの地域でもスーパーやコンビニが増えており、経営が苦しい状況のようです。</p>	
<p><b>【地域のつながりについて】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>魅力のあるまちとして、人と人のつながりがあるということが挙げられますが、今の若い人は知らない人と自分からつながりを持つというのが苦手な人が多いと思います。町でイベントなど、つながりを持たせるような活動があればと思うの</p>	<p>地域のつながりを持たせる活動といいますと自治会になります。町には22の自治会がありますが、加入率が8割を切っています。新しい方が転入されても自治会への加入につながりません。役員が回ってきたら煩わしい、地域の活動には参加できない、それらが加入率</p>	

<p>ですが、何か今やっているものはありますか。</p>	<p>の低下に結びついていると考えられます。</p> <p>ただ、自治会の皆さんの活動状況を見ると、仕事を休むまでは減多にありません。あるのは休みの日に年に数回やる程度の話です。</p> <p>活動できる人はある程度絞っても、私はいいと思います。加入してもらうこと、情報の共有ができること、これが大切です。いざというときに顔も知らない方というのは、声もかけづらいので、地域の方と交流を持てる場が必要になります。開発で住宅がまとまっているところに新しく入られる方同士は、まとまりがあります。ところが、昔から住んでいる方と新しい方というのは、思いの強さが異なり、新しい方がとけ込みにくい状況になります。そういった思いの違いを従来から住んでいる方に取り除いてもらう、もしくはその努力を自治会の方をお願いしています。気兼ねなく地域で交流ができるよう環境づくりに協力していただいております。自治会に入っておられない方との交流は、地域でぜひ持っていただきたいと思います。アイデアがありましたら、皆さんからもいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>	
<p><b>【結婚について】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>出生率が低下し、人口減少が45年後には1万人に上るとあり、その対策として結婚から子育てまでの支援と書かれていますが、出生率の低下は結婚率の低下に原因があるのではないかと私は考えます。結婚を促すことから始めるべきと考え</p>	<p>確かに結婚については、晩婚の傾向にあるとよく耳にします。昔の世間での結婚に対する考え方と今の考え方とは異なっているとは思いますが。結婚に対してどのように捉えているのか皆さんに教えていただきたいです。</p> <p>この件については、国としても危</p>	

<p>たのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>機感を持ち、子ども・子育て制度の新しい取り組みをし、予算もかなり配分はされていますが、急激に上がることもなく、難しい状況です。</p> <p>町は結婚を支援する動きを行っておりませんが、商工会や農協さんでは婚活イベントを進めております。</p>	
<p><b>【若者が魅力と思うことについて】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>若者にとって魅力のある一部の要素として、流行ではないかと感じております。具体的な案ではないですが、流行りの施設やイベントをはじめ、流行りに焦点を当て行政が働きかけると、若者も少し身近に魅力を感じられるのではと思われました。</p> <p>例えば、都内で流行っているお店の支店などができると話題になるので、そういったところで若者にアピールする要素として流行が挙げられると思われました。</p>	<p>流行、話題性というのは難しい部分であります。</p> <p>皆さんのお手元にありますガイドブック（「高座」のころ。）、これは寒川の歴史・文化そして町民の穏やかさ、優しさ、温かさなどを集約したものが魅力かと、総合的なものはあると認識しております。しかし、今おっしゃられたような流行、行きたいというところまでできるかどうかは、これからの情報の出し方もあろうかと思えます。</p> <p>コンパクトな町ですが、さまざまな施設、文化、情景があり、特に転入された方から伺うのですが、「住んで寒川の良さを知ることができた」と。やはり情報の出し方を町としても行政情報だけでなく、一般の方が足を運んでみたいと思えるようなインパクトのある情報を考えなければと思えます。</p>	

**②協働のまちづくり～若者が町と協力してできること～**

参加者	町長	懇談後の経過 結果等確認事項
<p>(司会)</p> <p>では、次のテーマ、「協働のまちづくり～若者が町と協力してできること～」に移らせていただきたいと思います。</p>		

<p>若い人たちと町で協力して何かできること、そのようなアイデアをいただいでいくことができると考えております。</p>		
<p><b>【ワークショップについて】</b>  <b>共助・公助</b>      地元の裾野市（静岡県）というところでは、住民の方々が参加できるまちづくりの、裾野市未来会議というワークショップをしております。ご年配の方から高校生の方まで参加していらっしやって、市役所やNPO法人の方々が運営を行われています。寒川町では住民の方々の意見を取り入れるための取り組み、そのような会議などはされていますか。</p>	<p>基本的には、さまざまな計画をつくる際にはご意見をいただくことはあります。現在は公共施設の再編計画を策定しており、無作為抽出で各年代から選ばれた方々とのワークショップを行い、さまざまなご意見をいただいています。今回の懇談のような地域の方々との懇談の場も持っておりますけれども、定例的なものもつくっていきたく思います。特に若い人に参加していただけるようにしたいと思います。</p>	
	<p>(司会)      ありがとうございます。ちなみに裾野市のワークショップに行かれたことはありますか。</p>	
<p>はい、2、3回行きました。</p>	<p>(司会)      どのようにすれば、ワークショップに若い人たちが行きたいと思えるでしょうか、何かお考えはありますか。</p>	
<p>根本的に、同年代の友人に聞いたところ、まず存在を知らないというのが大きいです。PRというのが、裾野市はホームページに載せるだけという形で、自らその会議を知ろう、参加しようという気持ちがなければ、それを知る場面がないというのが一番問題だと思います。終わってから、会議がありましたということはフェイスブックなどで報告をしていますが、やはり知る機会が少ないと思っております。</p>	<p>行政側から計画など、テーマによって皆さんのご意見をいただきたいというときに、若い人が参加しやすい条件というのはありますでしょうか。</p>	
<p>条件まではわかりませんが、行政の会議は堅苦しいイメージを持つ</p>	<p>そうですね、面白いとは思えませんが。募集方法も堅苦しいものになっ</p>	

<p>ていらっしゃる方が多いと思います。</p>	<p>てしまっています。若い人が参加してみたいと思っていただけるよう行政側もより努力します。</p>	
	<p>(司会) 町で審議会を開催していますが、若い人の募集がない状況にあり、例えば平日の夜や土日に開催ならばなどご意見ありますでしょうか。 成人式実行委員を経験された方はいらっしゃいますか。</p>	
<p><b>【成人式実行委員について】</b> <b>共助・公助</b> 成人式の運営委員に参加していました。きっかけは、知り合いの職員から誘っていただいたことです。若い、同じような世代の職員の方に声をかけてもらおうと、閉鎖的にならずに参加しようという気持ちになると思います。</p>	<p>町でも成人式を毎年行っており、成人式実行委員会は、成人式の対象者に運営していただいております。当日の企画運営まで行っていただき、若い人らしいアイデアを出してもらっています。</p>	
<p><b>【町と企業の協働について】</b> <b>共助・公助</b> 私は厚木市出身で、子育てパスポートというものを厚木市では行っており、子育て支援と市内の商業と一緒に町を支えていこうという取り組みです。具体的な内容として、市内に住んでいる18歳未満の子供が2人いる世帯は、市内にある企業やお店を利用する際に割引や特典がついてくるというものです。寒川でも、厚木市のように市民が市内でお金を使い利益を上げていこうようにすると良いと思ったのですが、今後、そのような予定はありますか。</p>	<p>確かに、商業の活性化の一助にもなると思います。町内の商業だけでなく、農業も含めて町内で買い物をする際の特典、割引制度というものは、一つの支援策にはなります。</p>	<p><b>【産業振興課 商工労政担当】</b> 町では厚木市の子育てパスポートのような事業を行っておりませんが、神奈川県では「かながわ子育て応援パスポート」をいう事業を行っております。この事業は協力施設にパスポートを掲示することにより、各施設が設定する優待サービスを受けることができるというものです。 町内の事業所も協力施設に登録していただいております、子育て世代の方に優待サービスをご提供いただいております。 また、子育て世代の方に限ったことではないのですが、勤労者個人住宅取得奨励事業という事業がございます。この事業は勤労者福祉の向上、定住促進及び地域経済の活性化を図ることを目的として、事業所等に勤務している方が、町内に新築・中古住宅を取得</p>

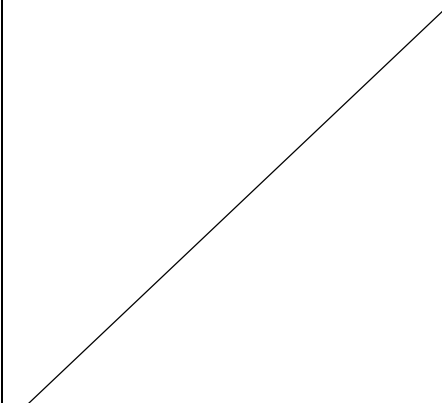


		<p>した場合に寒川町共通商品券を交付するものです。</p> <p>この商品券は寒川町内の加盟店でのみ利用できるもののため、この事業は町内の商業の活性化の一助となり、支援策の一つとなっていると考えております。</p>
<p><b>【交流の場について】</b></p> <p><b>共助・公助</b></p> <p>転入者のみが集まる話し合いの場がありましたら、その後、仲よくなった際に自治会と一緒にいける、自治会に入りやすくなると思います。また、自治会だけでなく、ボランティアなど別のコミュニティがありますと地域とつながる機会が多くなると思います。若者、大学生や高校生も学校自体に声をかけていけば、地域の方と若者たちが交流できる場になるのではないかなと思います。</p> <p>定期的なボランティアというのは、行政が主体として行っているのでしょうか。</p>	<p>転入された方は従前から住んでいる方よりは町の良い点、改善すべき点がわかると思うので、考えてみようと思います。</p>	
	<p>(司会)</p> <p>ボランティアとしてゴミ拾いのイベントがあり、それは企業さんの中でも年に1回、5月の一番最後に相模川で行われ、老若男女、自治会から企業から様々な方がいらっしやって、なかなか会う機会のない人が会ったりする場になっております。</p>	
	<p>対象者を絞るということも、一つの参加動機づけになると思われます。誰でもではなく、私なら参加できるということになると、参加してみようという気持ちを後押ししてくれます。面白いアイデアだと思います。</p>	
<p><b>共助・公助</b></p> <p>私は出身が長野県で、小学生の</p>	<p>小中学校は町の管理施設ですから、教育施設という捉え方だけな</p>	

<p>時、年に1回、保護者と学校が協力してフリーマーケットを行ってありました。子供や周辺の高齢者の方々に来てもらい、みんなで楽しむというものです。友達みんなで行くので、子供たちも友達同士で仲よくなるきっかけにもなりますし、親同士もつながるきっかけになると思います。</p>	<p>く、ある意味、地域のコミュニティの場としての取り組みも良いと思います。</p> <p>寒川では文化祭を各学校で開催しており、その際にPTA役員の方々が子供たちと一緒に手づくりのものを販売することをしています。</p>	
<p><b>【スポーツによるまちづくりについて】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>私の出身は秋田県で、秋田県庁で高校野球プロジェクトというものを進めており、その結果が今年の夏の甲子園で有名になった金足農業につながりました。結果的に秋田県は有名になり、盛り上がりを見せました。それもまちづくりの一つとして捉えることができるのではないかと思います。</p>	<p>寒川でも、中学生の硬式野球で湘南クラブというのがあります。全国大会でも優勝されています。本部は藤沢ですが、練習は寒川の倉見地区で行っており、寒川と関わりのある所とのつながりをアピールしたいと思います。</p>	
<p><b>【情報の発信方法について】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>私自身そうなのですが、会議に参加したいと考える高校生や大学生は絶対にいるので、周知させることが重要だと思います。</p>	<p>(司会)</p> <p>寒川も若者会議、「まちすた」を毎月、最後の月曜日の夜に開催しています。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご参加ください。</p> <p>「まちすた」を定例的に開催していますが、認知されていません。やはり、情報の発信方法を行政側も工夫しなければいけません。若い人の意見を取り入れる方法として、また、寒川らしい取り組みとして、具体的に展開したいと思います。</p>	

### ③ その他

参加者	町長	懇談後の経過 結果等確認事項
<p><b>【パンプトラックについて】</b></p> <p><b>公助</b></p>	<p>パンプトラックは一般の方にも</p>	<p><b>【企画政策課 企画行革担当】</b> また、平成31年4月27日から29日</p>

<p>東京オリンピック・パラリンピックに向けて自転車やスケートボードなどが楽しめる施設をつくることですが、東京オリンピックが終わった後はどのように活用していくご予定でしょうか。継続的な活用方法がありましたら教えていただきたいです。</p>	<p>開放しており、永続的に設置する方針です。また、このパンプトラックはBMXなどの自転車やスケートボード、インラインスケートを楽しむ施設です。スポーツ施設で、このような形のは国内、県内でも非常に少なく、行政が設置することは寒川が初めてと聞いています。施設を使ったイベントも開催し、町内はもちろん町外からも、特に若い方々に足を運んでいただき、寒川を知る契機となればと思います。</p>	<p>にかけて、さむかわ中央公園内において、BMXフラットランドを中心としたストリートスポーツの世界大会「ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA」を開催いたします。この大会を契機として、パンプトラックも活用しながら、今後もBMX等ストリートスポーツの振興を進めていきたいと考えております。</p>
<p><b>【給食センターについて】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>2023年度から、小中学校合わせた給食センター方式による完全給食実施に取り組むとありますが、僕の出身である静岡県の小中学校の給食の実施の割合が神奈川県に比べ大きいという話を聞き驚きました。</p> <p>また、ニュースに以前あったように、給食センターでつくられたものが大量に残されるなどの問題があると思われませんが、給食センターを建設するに当たり業者に依頼をするのか、町が栄養士など、調理する人を雇い運営していくのか、詳しくお聞きしたいです。</p>	<p>現状、神奈川県和学校給食の実施率が低いのは、政令市である横浜、川崎が完全実施していないこともあり、全国的にも神奈川県は低いです。</p> <p>先ほどおっしゃられた、食べ残しというのはおそらく、デリバリー給食だと思われます。また、どこに建設するのか、どのような形式にするのか、まだ具体的には決まっておりません。しかし、現在、町の小学校は自校方式で給食をつくっており、その栄養士は町職員が行っておりますので、引き続き町職員が担当いたしますが、調理をする方については民間が入るか、町職員が継続するかは検討中でございます。</p>	<p><b>【教育施設・給食課】</b></p> <p>平成30年4月より、町職員で構成する内部検討委員会及び町民、PTA、学識経験者、学校関係者等で構成する外部検討委員会の各検討委員会で、給食提供手法、規模及び能力、整備手法等を内容とした給食センター整備に伴う基本構想・計画（素案）の策定作業を行っているところであります。今後、運営方法なども検討を行っていくこととなります。こちらについては、その過程を皆様に「かわら版」等でお知らせするとともに、説明会等の開催も予定しており、給食センターの検討状況を町民の皆様に広く情報発信してまいります。</p>
<p><b>【交通渋滞について】</b></p> <p><b>公助</b></p> <p>通学時、寒川駅前をよく通るのですが、朝や夜の時間帯の渋滞を感じておりまして、通常ですと20分ほどで着くところ、混雑時ですと倍の時間がかかってしまいます。行政で何か取り組めることでしたり、今後、人口が増えるに当たって交通の</p>	<p>寒川町内の自動車交通量、通過車両も含め非常に多いです。交通網としてバイパスの整備も必要であると感じております。ただ、全てが町の道路ではなく、県道もあります。県道につきましては、管理を行っている県と調整をしております。また、町の管理する町道につきまして</p>	

<p>便というのはますます整備する必要があると思いますが、そのあたりについてどのような取り組みがなされているのを教えてください。</p>	<p>は、渋滞時間の短縮等を図るように、努めております。日々ご迷惑をかけております。</p>	
<p><b>【自治会について】</b>  <b>共助・公助</b>  自治会に入るに当たり、寒川の中で2千世帯ある自治会と、2百世帯しかない自治会では役員が回ってくるタイミングが異なり、公平さが失われてしまうのではないかと感じられました。先ほど、22自治会があるとお聞きしましたが、その22が適正な自治会の数なのかというものと、1自治会の中で5つほど分かれている自治会があると思いますが、その数を平等に分けられるような、区域設定みたいなものはないかという意見です。</p>	<p>自治会の規模にも違いがあり、小さいところでは2、3百世帯、大きいところでは3千世帯ほどです。自治会の中には町内会というものがあり、大きいところでは町内会の数が多くなりますが、平等になるよう調整されています。</p>	